



《地域医療連携》 逆紹介率

項目解説

紹介率とは逆に、他の医療機関へ紹介した患者の割合を示す指標です。近年、初診や慢性期の継続的な病気については診療所や一般病院等が受け持ち、入院が必要な場合や専門的な治療（検査・手術など）については中核病院が受け持つという、医療提供の住み分けが推進されています。紹介された患者に対して専門的な診断・治療を行ったあとは、紹介元の診療所や一般病院等へ逆紹介し、継続的に治療していただくことになります。

紹介率と同様、「どのくらい他施設と連携できているか」の目安となります。

当院の実績

平成22年度	8.7%	
平成23年度	7.6%	(1,268/16,588)
平成24年度	10.2%	(1,742/17,006)
平成25年度	8.3%	(1,316/15,803)
平成26年度	8.6%	(1,163/13,533)
平成27年度	8.2%	(1,193/14,587)
平成28年度	9.4%	(1,238/13,163)

当院の自己点検評価

当院では地域における他医療機関との連携に力を入れ、地域医療の発展に貢献したいと考えています。

今後も地域医療に密着した患者サービスの向上に努めてまいります。

定義

他の医療機関へ紹介した患者の割合

算式の分母は紹介率と同じ値を使用する

算式

分子：逆紹介患者数

分母：初診患者数－（救急患者＋休日・夜間受診＋救急搬送＋健診精検受診）

※25年度まで旧医療法 26年度以降は新医療法